

# こころの便り

第209号  
平成29年8月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二  
株式会社 新宮運送グループ  
代表/木南 一志  
kiminami@shingu.co.jp  
電話 079-11-7511212

## 役に立つ

暑い夏がやってきました。毎年のように、いつも以上の暑い夏と表現されるようになって天気予報の晴れマークも猛暑日には濃い赤が採用されるようになりました。熱中症で倒れないように日頃の体力づくりと無理を重ねないことが大切です。

国会では相変わらずの加計学園の議論ばかり。言った、言わないという議論の結果、生まれてくるものはなんでしょう。ワイドショーならいざ知らず、他にやるべきことがたくさんあるにもかかわらず、次に進ませない手法なのでしょう。そして、その責任は誰のせい？と、いつも同じ攻防の繰り返しです。民進党を馬鹿にするなら、自民党も大人になって肅々と国会運営を進めてもらいたい。税金を使って、税金の無駄遣いを議論することほど無駄なことはないのです。

高学歴社会となって議論の言葉や技術は高まっているので、本来やるべきことを棚上げにした議論など何の意味もありません。荷物を積んだトラックを前に安全運転の講義をしているようなものです。まずは動きだすこと、行動することなのです。そして、それは誰かを喜ばせるモノでなくてはなりません。命は喜ばれるために働くのが本来の役割です。つまり、誰かの役に立つということです。私たちが、日常食べているお肉や野菜にも命があります。その命をいただくから、『いただきます。』と言うのです。この習慣を持つ

ているのは日本人だけです。

私を食べていただくわけにいきませんから、命が役立つ生き方が必要です。自分の命はどこで役に立っていますか。「ありがとう」と言ってもらえる仕事ができているでしょうか。道を譲ることひとつでも、ゴミを拾うことでも、命を輝かせることはできます。笑顔のあいさつでもハイの返事も、お役にたてる人生を重ねていくことで、この国は良くなります。

議論をして勝つ人を目指すのではなく、人の役に立つ人になっていきましよう。人のお世話になったら「ありがとう」を言える人になりましよう。子供たちが澄んだ目でしっかりとみているのは、そういう大人であると思うのです。反面教師とふざけている大人は、そのうち見向きもされなくなるはず。学校が悪い、政治が悪い、会社が悪い、世間が悪いという前に「自分はどうか？」と問いかけて、せめて、自分はこんな所で役にたつているといえる人になって行動できるようになると、時間と共に必ず認められるようになります。

あなたのおかげで...と言ってもらえるようになった時、あなたにしかできない魅力が輝き始めるのです。その光は、一燈（いっとう）となって世の中を照らしていくのです。

一緒に足元を照らす人になっていきましよう。いい笑顔を広げましよう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ方々の力で、皆様にお届けさせていただいております。

## 尋常小學校修身書 卷五 兒童用

### 第一課 我が國

昔天照大神は御孫瓊杵尊をお降しになつて、此の國を治めさせられました。尊の御曾孫が神武天皇であらせられます。天皇以來御子孫がひきつゞいて皇位におつきになりました。神武天皇の御即位の年から今日まで二千五百八十餘年になります。此の間、我が國は皇室を中心として、全國が一つの大きな家族のやうになつて榮えて來ました。御代々の天皇は我等臣民を子のやうにおいつくしみになり、我等臣民は祖先以來、天皇を親のやうにしたひ奉つて、忠君愛國の道に盡しました。

世界に國は多うござい  
ますが、我が大日本帝國  
のやうに、萬世一系の天  
皇をいたゞき、皇室と國  
民が一體になつてゐる  
國は外にはございませ  
ん。我等はかやうなあ  
りがたい國に生まれ、か  
やうな尊い皇室をい  
たゞいてゐて、又かやう  
な美風をのこした臣民  
の子孫でございませ  
ん、あつぱれよい日本人となつて我が帝國のために盡  
さなければなりません。

